

平成 29 年度 喫煙防止教室 生徒感想

- ◆昔、父がタバコを吸っていましたが、私が生まれてからやめたそうです。町などに出かけたとき、よくサラリーマンやタクシーの運転手が灰皿の近くでタバコを吸っているのを見ると、自分も吸っているような感じで、イヤになります。これからも、自分の周りで吸っている人がいたら、その煙を吸わないように気を付けたいと思います。とてもわかりやすく面白い「たばこの本当の話」でした。
- ◆昨年も話を聞きましたが、今年改めて聞いて学んだことがたくさんありました。専門の方は、顔を見ただけですぐに吸っているかどうかわかるということや、ニコチンはガンの元ということがわかりました。私の家も、父が吸っているので、ときどきその煙を少し吸ってしまいます。帰ったら、すぐにその話を詳しく父に知らせ、やめてもらうように説得したいと思います。
- ◆私のお母さんは、数年前までタバコを吸っていて、本当にやめて欲しかったので祖母と何度も説得をしました。そして、やめてくれました。体に害があることも知っていたし、寿命が縮んでしまうことも知っていたので、とても心配だったのです。お母さんが吸っていた理由は、「ストレス」でした。しかし、今日話を聞いて、タバコでは何も解決しないことがわかり、今吸っている人全員に、この事を伝えたいなと思いました。
- ◆私は、「タバコ」といったら、ただただ「悪い」ということしか知らなくて、具体的に何が起るのか、どんな悪影響があるのか分かりませんでした。ですが、今日話を聞いて、タバコを吸っている人は、「見ただけでわかる」「持久力・思考力・保湿力が下がる」「肌の調子・体の調子が悪くなる」などがわかりました。また、発ガン率が高くなったり、受動喫煙をしてしまうなど、自分だけではなく、周りの人にも迷惑をかけてしまうことがわかりました。私は、他の人からタバコをすすめられても、絶対に吸いません。
- ◆今回の話を聞いて、私の中の「タバコ」の存在が変わりました。今までは、「体に悪いからダメ」だったけど、「毒だから、危険だから吸ってはいけない」になりました。タバコの中には、「死刑のときに使うガス物質」や「ペンキ除去剤」など、危険な物が入っていて、とても怖いと思いました。もともと吸わないと思っていたけど、今回の授業を通して、その気持ちが強くなりました。
- ◆外国では、私達をねらってタバコを売りつけるという話を聞き、とても驚きました。周りの人にだまされず、吸わないようにしたいです。タバコに含まれる三大有害物質（ニコチン、タール、一酸化炭素）を「もっと多くの人に、知ってもらえたらなあ。」と思っています。
- ◆話の中で特に印象に残ったのが、「タバコは毒ガス」ということです。父は、一度倒れたにもかかわらず、タバコを吸い続けています。今までは、タバコの煙は物を燃やしたりしたときに出る煙のイメージがありました。しかし、今回タバコには250種類もの有害物質が含まれているということを勉強して、今考えると、その毒ガスを吸っている父の近くにいた小さい頃が、恐ろしく思えます。これからは、自分はもちろん吸わず、父にも声をかけてみようと思います。

【保護者感想】

☆飲酒・喫煙は、大人へ向かう子供たちにとって興味や関心を引きつける物であると思いますが、体が完成していない成長途中の体にとってどのような影響があるのかをわかりやすく伝えていただけて、子どももそのデメリットを具体的に理解したようで、親子で話しあう良い機会にもなりました。

☆若いときは格好つけて吸っていたなと思いました。一度禁煙したのに仕事のストレスからまた吸い始めて、今はもう大丈夫ですが、娘は今の気持ちのまま大人になってほしいです。

☆自分は喫煙しているので、大人として、親として、配慮や働きかけができずに、恥ずかしく思います。保険が使用できるとは知らなかったのをこれを機に禁煙外来を受診したいと思います。

☆禁煙外来、分煙など、最近タバコの害についてよく見かけます。体に害しか残らないタバコ。依存性が強くなかなかやめられない。そこが怖いところです。家族にも今回学んだことをたくさん話をしてくれました。

☆禁煙について、早期教育が実施されるようになった効果なのか、若い子がタバコを吸っている姿があまり見られなくなったと感じます。今の思いのままにいてほしいと思います。また、自分だけでなく、周囲へも呼びかける勇気も持ってほしいです。

